

日本語の歴史的典籍の
データベース構築計画

大学共同利用機関法人 人間文化研究機構

国文学研究資料館

このパンフレットの表紙について

このパンフレットの表紙は、日本の古典籍の表紙をイメージして作成しています。

淡黄色の線は、綴じ糸を表しており、室町時代以後、日本で主流となった綴じ方（製本方法）です。穴を四つ空けて綴じていることから、「四つ目綴（よつめとじ）」と呼ばれています。

また、表紙に2か所ある淡黄色の四角で表示しているタイトル及び国文学研究資料館の部分は、実際の古典籍では別の和紙で作成して貼り付けています。

古典籍とは？

日本語の歴史的典籍とは？

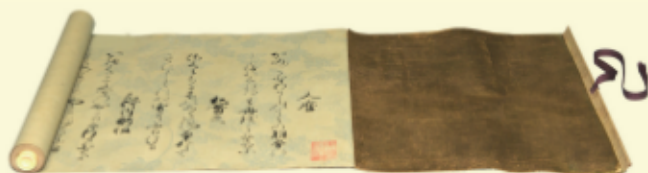
古典籍とは、奈良時代から江戸時代末までに、書写又は印刷された書籍のことをいいます。

とくに、日本人によって著述されたものを日本語の歴史的典籍としています。

みなさんは、古典籍というとどんなイメージを持ちますか。
古典籍には、いろいろなものがあります。



能の本



三十六人歌合



金剛般若波羅密經

※1頁～6頁の画像については、国文学研究資料館蔵のものです。

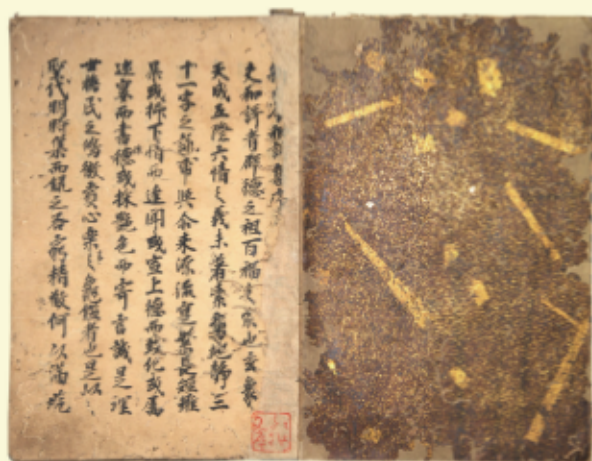
古典籍は貴重なの？

人から人へ何百年以上にも渡って、次の世代に受け継いできたからなんだよ。古いものだと1300年以上もまえからのものもあるんだよ。

文字で書かれたものは、もっと古いものが、木簡の断片として地中から時々出てきてはいるけど、人から人へ手渡しで残していくというのは、とっても大変なことなんだ。

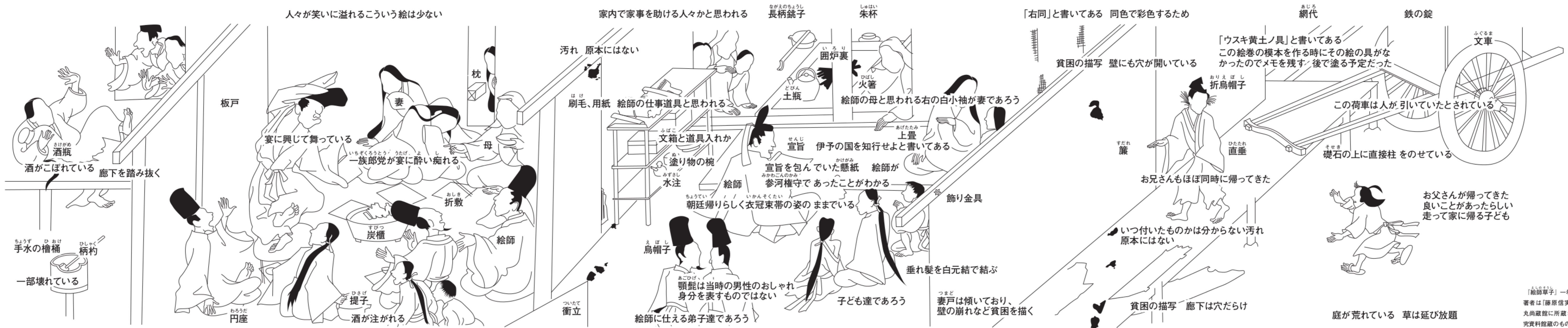
長い歴史の中には、地震や台風などの自然災害、応仁の乱などの戦などがあり、手渡しができなくなると、次の世代に伝わらないんだ。

そのような苦難を乗り越えてきたから、古典籍は貴重なんだよ。



「新古今和歌集」より





人々が笑いに溢れるこういう絵は少ない

家内で家事を助ける人々かと思われる

ながえのちようし 長柄銚子
しゅはい 朱杯

「右同」と書いてある 同色で彩色するため

あじろ 網代

鉄の錠

板戸
酒がこぼれている 廊下を踏み抜く
さけがめ 酒瓶
ちようず 手水の檜桶
ひおけ 柄杓
一部壊れている

宴に興じて舞っている
妻
母
炭櫃
折敷
提子
酒が注がれる
わろうだ 円座

汚れ 原本にはない
はけ 刷毛、用紙 絵師の仕事道具と思われる
困炉裏
どびん 土瓶
文箱と道具入れか
塗り物の椀
水注
烏帽子
ついで 衝立

絵師の母と思われる右の白小袖が妻であろう
上畳
宣旨 伊予の国を知行せよと書いてある
宣旨を包んでいた懸紙 絵師が参河権守であったことがわかる
朝廷帰りらしく衣冠束帯の姿のままている
子ども達であろう
絵師に仕える弟子達であろう

貧困の描写 壁にも穴が開いている
すだれ 簾
お兄さんもほぼ同時に帰ってきた
いつ付いたものかは分からない汚れ 原本にはない
貧困の描写 廊下は穴だらけ
つまで 妻戸は傾いており、壁の崩れなど貧困を描く

「ウスキ黄土ノ具」と書いてある この絵巻の模本を作る時にその絵の具がなかったのでメモを残す 後で塗る予定だった
おりえ ぼし 折烏帽子
ひたれ 直垂

この荷車は人が引いていたとされている
礎石の上に直接柱をのせている
お父さんが帰ってきた良いことがあったらしい 走って家に帰る子ども
庭が荒れている 草は延び放題
ふぐるま 文車

国文学研究資料館蔵の「絵師草紙」は江戸後期の模本です

「絵師草紙」一巻 鎌倉時代の絵巻とされる。著者は「藤原信実」と伝えられる。原本は三の丸尚蔵館に所蔵されている。本書は国文学研究資料館蔵のもので、江戸後期の模本。貧困な生活に喘ぐ絵師が、帝の宣旨を賜り、伊予(現在の愛媛県に相当)一国を治めるようにと書いてある。一族は喜び宴に耽る。中世という時代が持っていた可能性が描かれる。

古典籍は役に立つの？

昔は、デジタルカメラやビデオカメラがなかったんだ。そのため、紙に記録することしかできなかったんだ。

でも、記録が残ったから、昔の人の考えやどんなことが起きたのかを知ることができるんだよ。

古典籍をみんなが見たいと思っても、画像データ化がほとんど進んでいないため、残念ながら見ることはできないんだ。

このため、国文学研究資料館が中心となって、古典籍の画像データをみんなが見られるように計画をすすめています。

昔の行事、食事、衣服、道具、風景などに興味があったらぜひ見てください。また、学校で日本の歴史を教わったなら、予習や復習するために、お家の人と一緒に見てください。きっと、新しい発見ができることでしょう。

国文学研究資料館のホームページのアドレスは、裏表紙に載ってるよ。



錦絵「子供遊風あげくらべ」

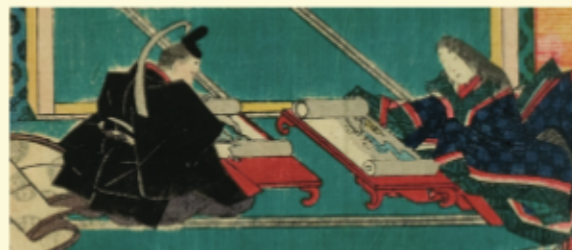
みんな知ってる？この古典！

いつごろできたのかな？ 知ってるものはどれ？

	奈良時代（八世紀）	平安時代（九～十二世紀）	鎌倉時代（十三～十四世紀）	室町時代（十四～十六世紀）	江戸時代（十七～十九世紀）	明治時代	
西暦・元号	七二〇（和銅三） 七五六（天平勝宝八） 七二四（神龜元）	七九四（延暦一三） 八九四（寛平六） 九三五（承平五） 一〇八三（永保三） 一一五九（平治元） 一二五六（保元元）	一一九二（建久三） 一二二一（承久三） 一一三三（天徳三） 一二八一（弘安四） 一二七四（文永一）	一一三三（延元元） 一四六七（応仁元） 一三九九（応永六） 一五七三（天正元）	一六〇三（慶長八） 室町幕府滅亡	一八四一（天保一二） 天保の改革	一八六八（明治元）
主な出来事	平城京に都を遷す 正倉院完成 聖武天皇即位	平安京に都を遷す 藤原純友の乱 平将門の乱 遺唐使廃止	鎌倉幕府開く 承久の乱 元弘の変 弘安の役 文永の役	京都に室町幕府開く 応仁の乱 応永の乱	江戸幕府開く		
作品名	万葉集 日本書紀 風土記 古事記	古今和歌集 伊勢物語 竹取物語 日本霊異記 続日本紀 枕草子 うつほ物語 蜻蛉日記 後撰和歌集 将門記 土佐日記	源氏物語 平治物語 保元物語 源氏物語 和漢朗詠集 紫式部日記 源氏物語 拾遺和歌集 和泉式部日記 大鏡 後拾遺和歌集 今昔物語集 源氏物語 金葉和歌集 詞花和歌集 金葉和歌集 今昔物語集 大鏡 後拾遺和歌集	徒然草 十訓抄 源平盛衰記 小倉百人一首 平家物語 宇治拾遺物語 方丈記 新古今和歌集 古来風体抄	大筑波集 新撰菟玖波集 風姿花伝 鉢かつぎ 増鏡 太平記 菟玖波集 曾我物語 義経記	南総里見八犬伝 東海道四谷怪談 浮世床 古事記伝 浮世風呂 椿説弓張月 春雨物語 東海道中膝栗毛 玉勝間 解体新書 雨月物語 国性爺合戦 冥途の飛脚 曾根崎心中 世間胸算用 奥の細道 日本永代蔵 好色五人女 好色一代女 好色一代男 太閤記 仁勢物語	
作者・編者名	大伴家持など 舍人親王・太安万侶 稗田阿礼・太安万侶など	景戒 藤原継縄・菅野真道など 紀貫之など 紀貫之 源順など 右大将道綱の母 清少納言	菅原孝標の女 小式部など 赤染衛門 藤原公任 紫式部 和泉式部 藤原通俊 後白河法皇 藤原顕輔 源俊賴 源隆国（説）	吉田兼好 菅原為長 鴨長明 藤原定家など 藤原俊成	山崎宗鑑 宗祇 世阿弥 小島法師（説） 二条良基	滝沢馬琴 鶴屋南北 式亭三馬・滝亭鯉丈 本居宣長 式亭三馬 滝沢馬琴 上田秋成 十返舎一九 本居宣長 杉田玄白・前野良沢 上田秋成 近松門左衛門 近松門左衛門 近松門左衛門 井原西鶴 松尾芭蕉 井原西鶴 井原西鶴 井原西鶴	



「伊勢物語」より



「西上録」より



「古今和歌集一首撰」より



「伊勢物語」より



「絵本時世粧」より

大学共同利用機関法人 人間文化研究機構

 国文学研究資料館

〒190-0014 東京都立川市緑町 10-3

電話 / 050-5533-2900

FAX / 042-526-8604

<http://www.nijl.ac.jp/>

National Institute of Japanese Literature (NIJL)

National Institutes for the Humanities

Address: 10-3 Midori-cho, Tachikawa city, TOKYO 190-0014, Japan

TEL: +81-50-5533-2900

FAX: +81-42-526-8604

このパンフレットをご覧の皆様へ

国文学研究資料館では、日本人によって著述された日本語の歴史的典籍(約30万点)の画像データベースを年次計画により、構築しております。画像データは少しずつ増やしていきますので、ご希望の古典籍がない場合でも、将来的には見られるようにいたしますので、それまでお時間をいただくことをご敬願します。



国文学研究资料馆